

令和5年度
帯広市小中学生
読書アンケート調査結果
報告書

令和5年12月

帯広市教育委員会

目 次

I 調査の概要	1
1 調査の目的	2
2 調査対象及び調査方法	2
3 回答内訳及び調査実施校	2
4 調査実施担当	2

II 設問別調査結果	3
問1 学校の授業以外で平日（月～金曜日）に、一日、どれぐらいの時間、本を読みますか。	4
問1-1 問1のうち、スマホやパソコンなどで、一日、どれぐらいの時間、本を読みますか。	6
問2 学校の図書室に、1ヶ月の間にどのくらい行きますか。	7
問3 1ヶ月の間に何冊ぐらい本を読みますか。 今読んでいる本や漫画、雑誌も入れてください。	8
問3-1 問3のうち、何冊ぐらい雑誌や漫画を読みますか。	9
問3-2 問3のうち、何冊ぐらいスマホやパソコンなどで読みますか。	10
問4 読んだ本はどこで出会った本が多いですか。	11
問5 今年は、昨年と比べて本を読む機会は増えましたか。	12
問6 あなたは、小学校に入る前、家の人に絵本や本を読んでもらったことがありますか。	13
問7 あなたは本を読むのが好きですか。	14
問7-1 問7で③、④と回答した方は、その理由を教えてください。	15
分析-1 問6の各回答毎の問7の回答の内訳	16
問8 どんな図書館なら（もっと）行ってみたいと思いますか。	17
問8-1 問8で⑥と回答した方は、その理由を教えてください。	18
総評	19

III 参考	20
1 全国学力・学習状況調査との比較	21



I 調査の概要

1 調査の目的

帯広市の子どもたちの読書に対する意識や実態を毎年調査し、第四期帯広市子どもの読書活動推進計画の点検・評価を行うとともに、図書館運営、読書活動推進にあたっての参考資料とする。

＜参考 第四期計画の取組目標＞

- ① 読書が好きな子どもの割合【増加】
- ② 学校の授業時間以外に、平日一日当たり10分以上読書をする子どもの割合【増加】
- ③ 1ヶ月に1冊も本を読まない子どもの割合【減少】

2 調査対象及び調査方法

調査対象：帯広市内の小学4年生～中学3年生

調査数：小学生689人（13校）、中学生695人（7校） 合計1,384人

回答数：小学生600人（13校）、中学生589人（7校） 合計1,189人 回答率（85.91%）

調査期間：令和5年6月21日（水）～7月7日（金）

調査方法：児童生徒一人一台端末および北海道電子自治体共同システム「HARP」を使用した電子アンケートを実施。（無記名）

3 回答内訳及び調査実施校

＜回答内訳＞ （合計1,189人）

小学生	4年生	5年生	6年生	合計	中学生	1年生	2年生	3年生	合計
調査対象	184	297	208	689	調査対象	276	228	191	695
有効回答	166	249	185	600	有効回答	236	198	155	589
回答率	90.2%	83.8%	88.9%	87.1%	回答率	85.5%	86.8%	81.2%	84.7%

＜調査実施校＞ （合計20校）

小学生	4年生	5年生	6年生	合計	中学生	1年生	2年生	3年生	合計
市街地区	柏	明星	西	11校	市街地区	第四	南町	第二	5校
	栄	緑丘	啓西			翔陽	第五		
	啓北	稲田	明和						
		花園	つつじが丘						
農村地区	清川・大正			2校	農村地区	清川・八千代			2校

4 調査実施担当

帯広市教育委員会 生涯学習部 生涯学習文化室 図書館

帯広市西2条南14丁目3番地

電話 0155-22-4700

Ⅱ 設問別調査結果

<報告書中の表記>

- 本報告書では、特に断りのない限り集計結果の数値を小数点以下第2位で四捨五入している。
- 各設問のグラフには、「無回答」及び「不明」は掲載していないため、回答比率の合計が100%にならないことがある。

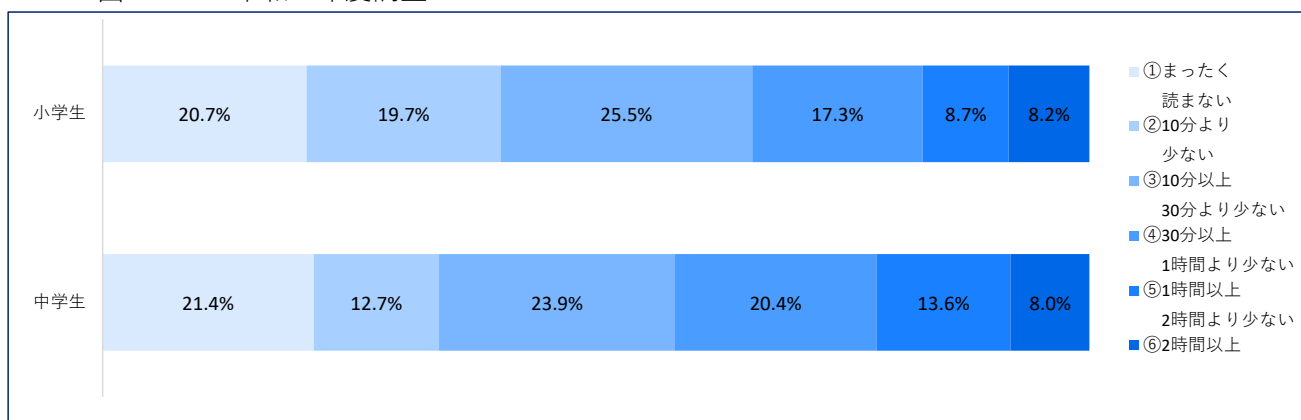
問1 学校の授業以外で平日（月～金曜日）に、一日、どれぐらいの時間、本を読みますか。
（漫画、雑誌を含む）

概要 小中学生どちらにおいても、「③10分以上30分より少ない」時間の読書が最も多い。
また、10分以上読む小学生は59.7%（R4：64.7% 差：△5.0pt）、中学生は65.9%（R4：62.4%
差：3.5pt）となっている。特に「①まったく読まない」数値が高いのは小学4年生が25.3%、
中学3年生が29.7%となっている。

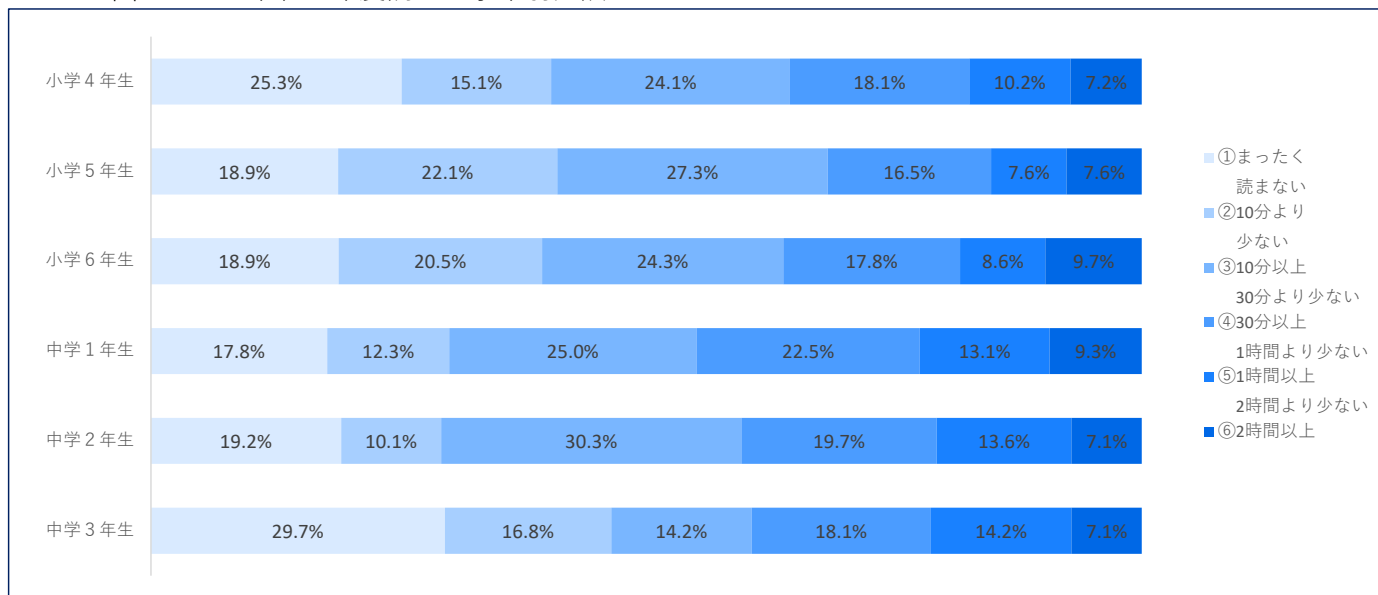
令和5年度調査

	①まったく 読まない	②10分より 少ない	③10分以上 30分より少 ない	④30分以上 1時間より少 ない	⑤1時間以上 2時間より少 ない	⑥2時間以上
小学生	20.7%	19.7%	25.5%	17.3%	8.7%	8.2%
中学生	21.4%	12.7%	23.9%	20.4%	13.6%	8.0%

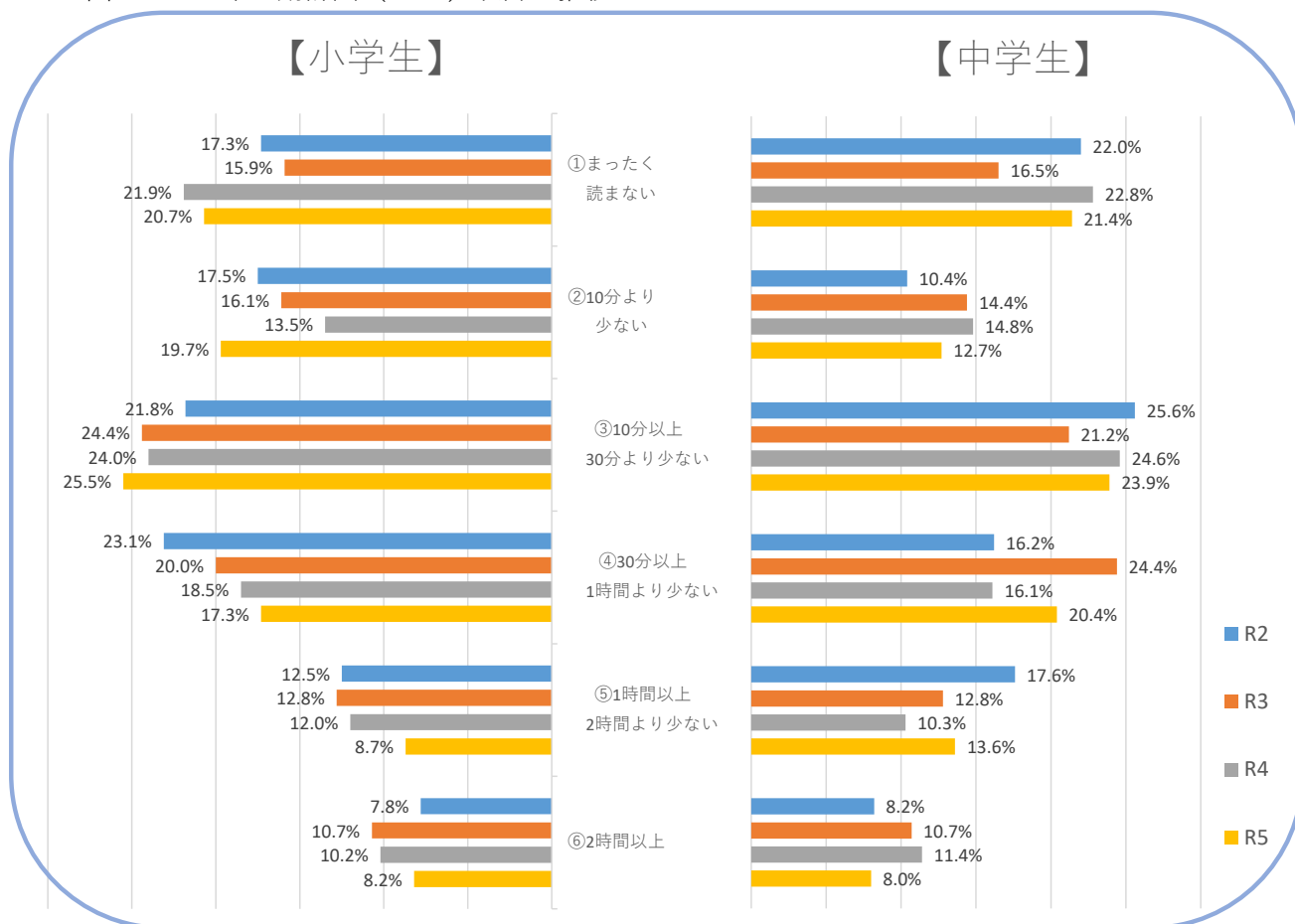
< 図1-1 令和5年度調査 >



< 図1-2 令和5年度調査 学年別内訳 >



< 図 1 - 3 第四期計画（R2～）以降の推移 >



問1-1 問1のうち、スマホやパソコンなどで、一日、どれぐらいの時間、本を読みますか。

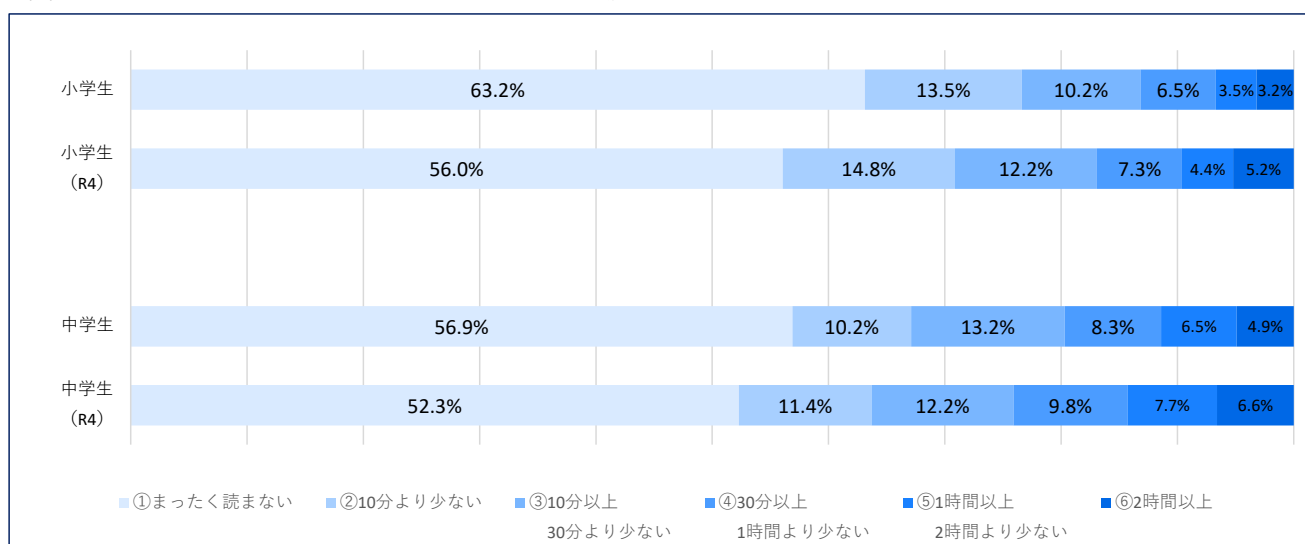
概要 小中学生どちらにおいても、「①まったく読まない」という回答が最も多い。

小学生のうち、10分以上スマホやパソコンで読書をするのは23.4%（R4：29.1% 差：△5.7pt）、中学生は、32.9%（R4：36.3% 差：△3.4pt）と減少傾向にある。

令和5年度調査

	①まったく読まない	②10分より少ない	③10分以上30分より少ない	④30分以上1時間より少ない	⑤1時間以上2時間より少ない	⑥2時間以上
小学生	63.2%	13.5%	10.2%	6.5%	3.5%	3.2%
中学生	56.9%	10.2%	13.2%	8.3%	6.5%	4.9%

<図1-1-1 令和5年度調査と前年度調査の比較>



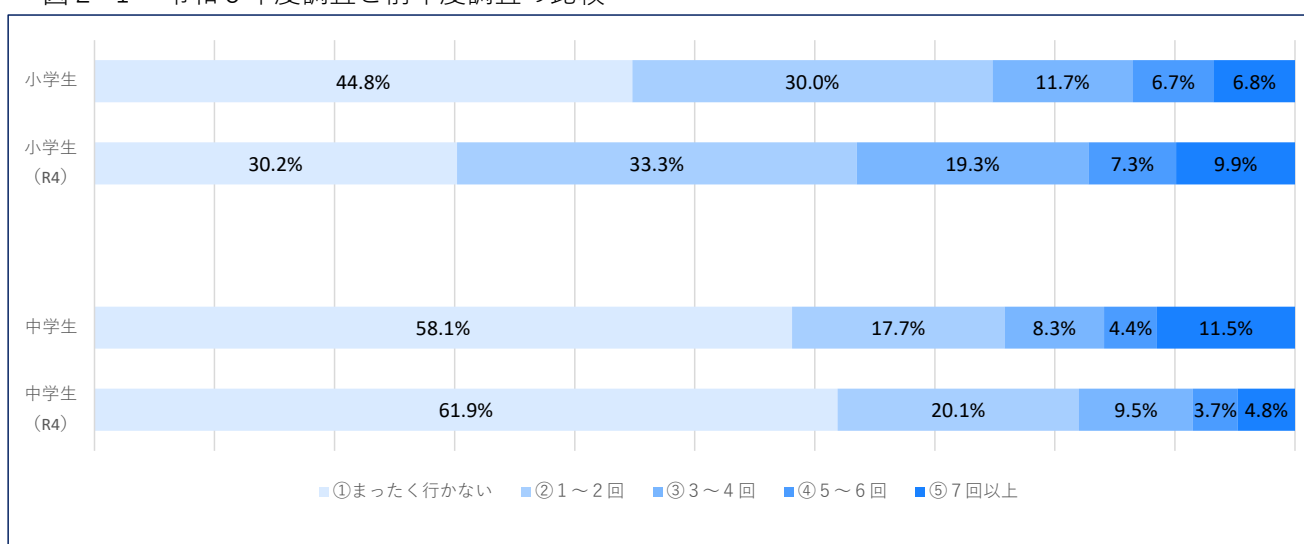
問2 学校の図書室に、1ヶ月の間にどのくらい行きますか。

概要 小中学生どちらにおいても、「①まったく行かない」という回答が最も多い。
特に小学生においては②～⑤の選択肢が令和4年度と比較して全て減少している。
しかしながら、中学生において「④5～6回」を選択する生徒が4.4%（R4：3.7% 差：0.7pt）、
「⑤7回以上」を選択する生徒が11.5%（R4：4.8% 差：6.7pt）と増加しており、特に中学2
年生が⑤を選択する割合は、23.2%となっている。

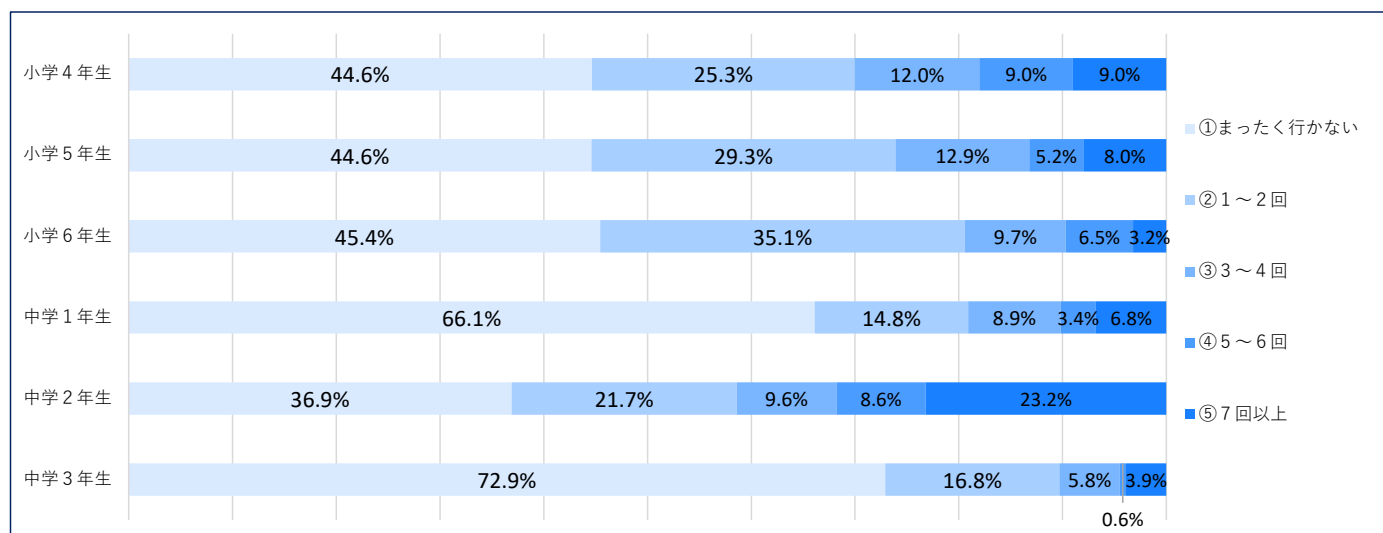
令和5年度調査

学校名	①まったく行かない	②1～2回	③3～4回	④5～6回	⑤7回以上
小学校	44.8%	30.0%	11.7%	6.7%	6.8%
中学校	58.1%	17.7%	8.3%	4.4%	11.5%

<図2-1 令和5年度調査と前年度調査の比較>



<図2-2 令和5年度調査 学年別内訳 >



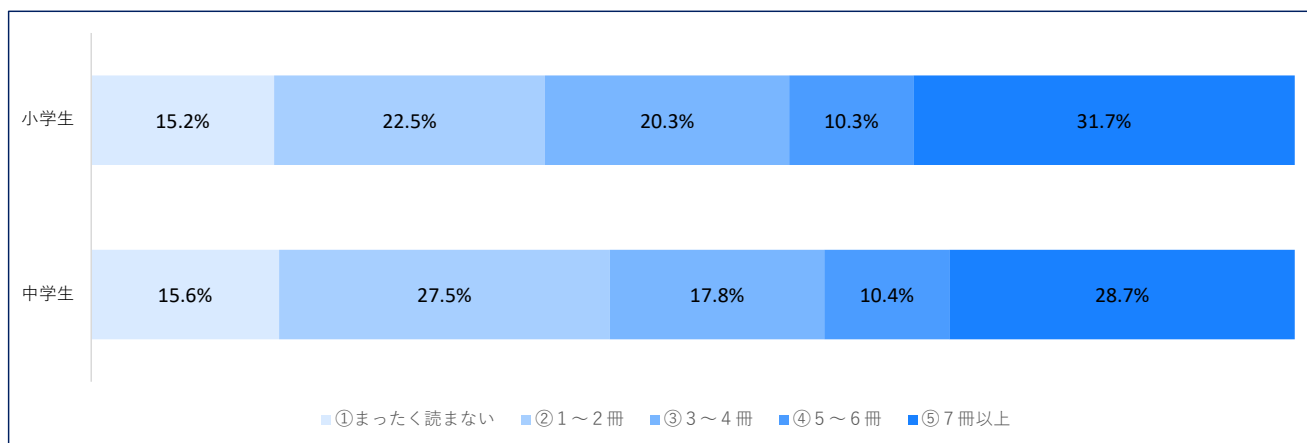
問3 1ヶ月の間に何冊ぐらい本を読みますか。
今読んでいる本や漫画、雑誌も入れてください。

概要 小中学生どちらにおいても、「⑤7冊以上」読むという回答が最も多い。
令和4年度と比較すると「④まったく読まない」を選択する児童生徒はいずれも減少しており、
⑤を選択した中学生は、28.7%（R4：24.9% 差：3.8pt）と一番増加した。

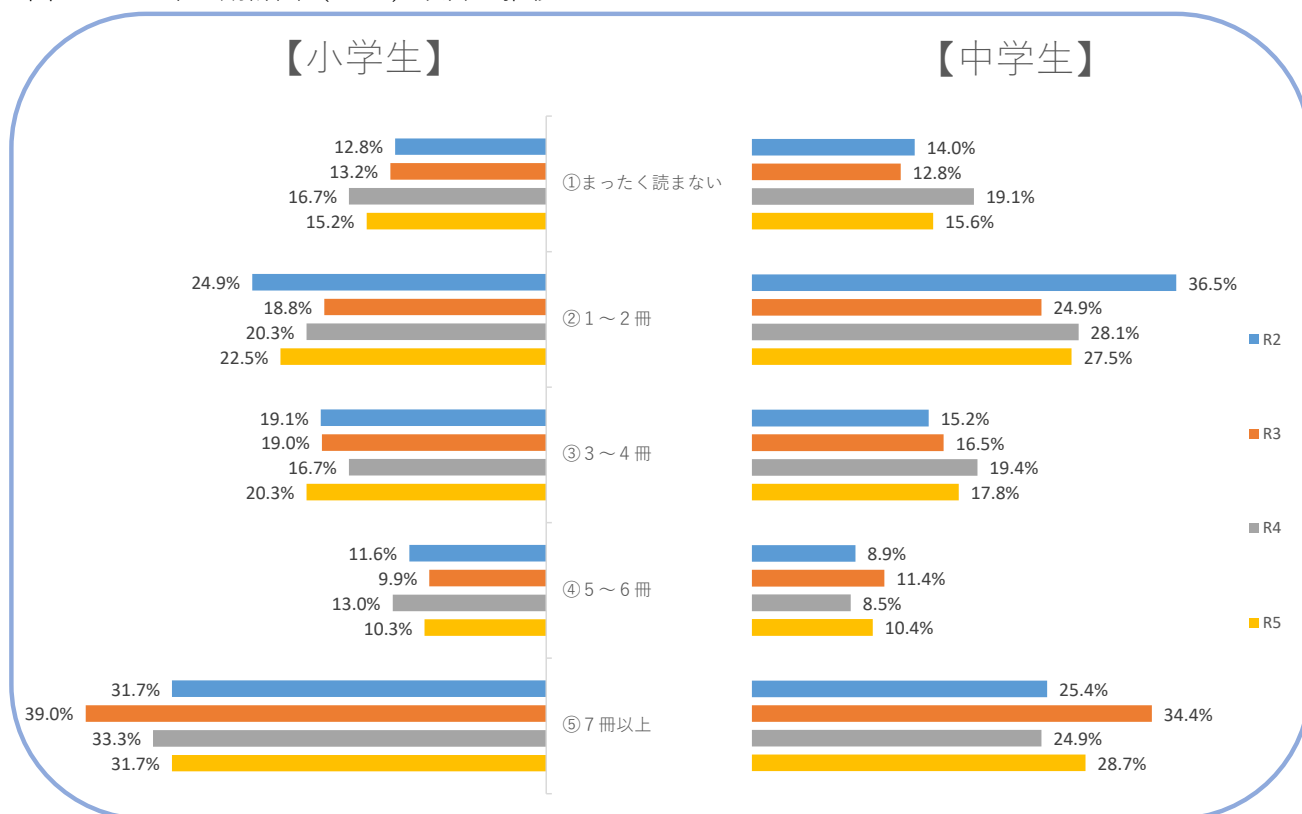
令和5年度調査

	①まったく読まない	②1～2冊	③3～4冊	④5～6冊	⑤7冊以上
小学生	15.2%	22.5%	20.3%	10.3%	31.7%
中学生	15.6%	27.5%	17.8%	10.4%	28.7%

<図3-1 令和5年度調査>



<図3-2 第四期計画（R2～）以降の推移 >



問3-1 問3のうち、何冊ぐらい雑誌や漫画を読みますか。

(問3のうち、②～⑤の「1冊以上本を読む」と回答した人のみ回答)

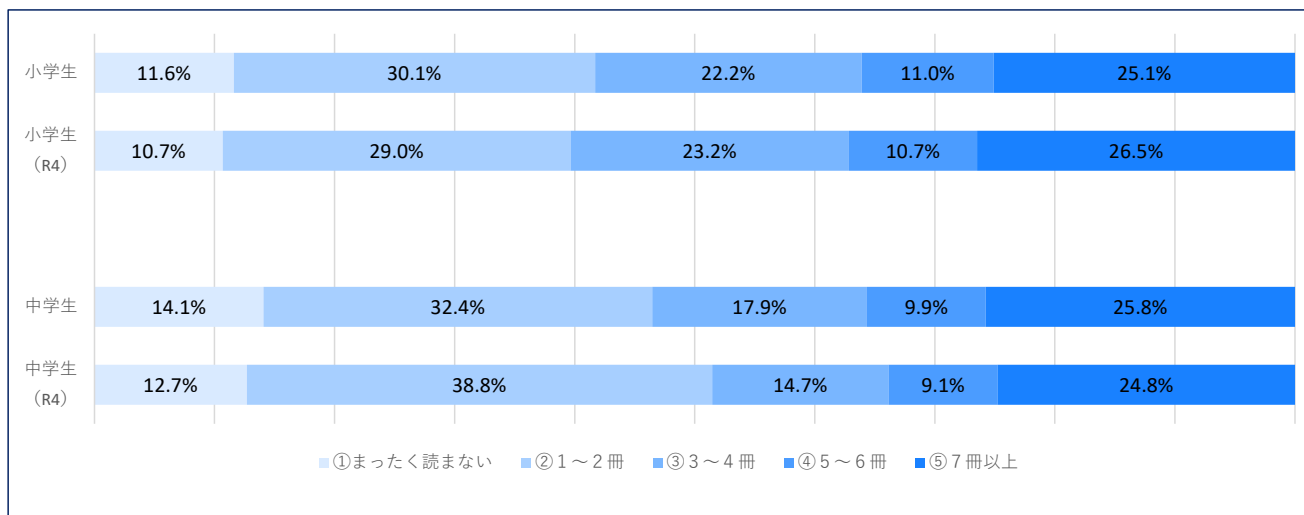
概要 小中学生どちらにおいても、「②1～2冊」読むという回答が最も多い。

令和4年度と比較すると、小学生はほぼ変化が見られなかったが、中学生においては、「③3～4冊」を選択する生徒が17.9% (R4: 14.7% 差: 3.2pt) と増加している。

令和5年度調査

	①まったく読まない	②1～2冊	③3～4冊	④5～6冊	⑤7冊以上
小学生	11.6%	30.1%	22.2%	11.0%	25.1%
中学生	14.1%	32.4%	17.9%	9.9%	25.8%

<図3-1-1 令和5年度調査と前年度調査の比較>



問3-2 問3のうち、何冊ぐらいスマホやパソコンなどで読みますか。

(問3のうち、②～⑤の「1冊以上本を読む」と回答した人のみ回答)

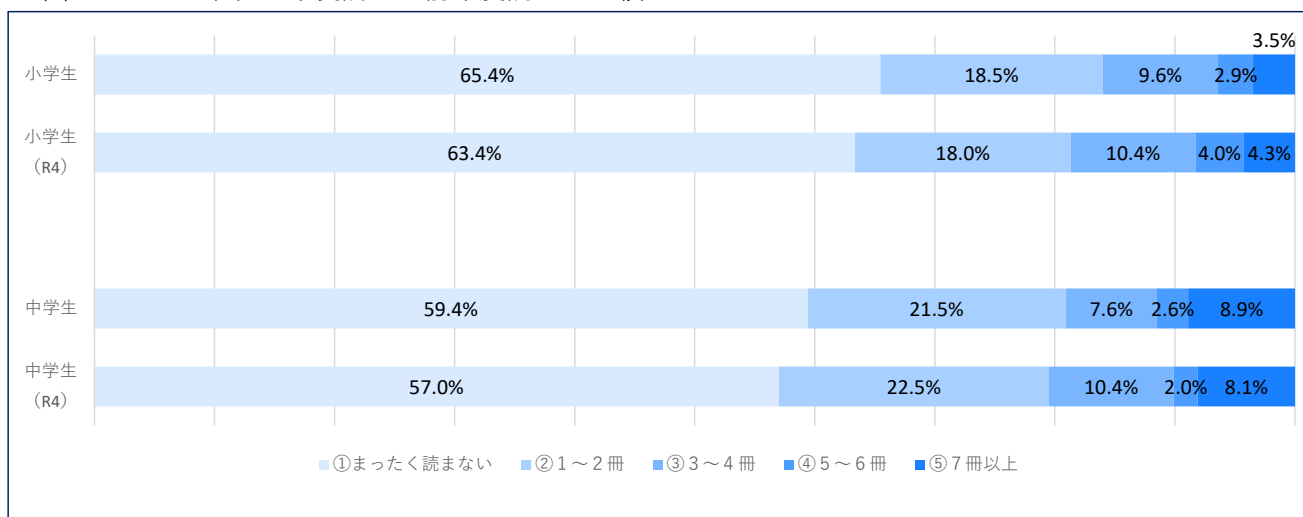
概要 小中学生どちらにおいても、「①まったく読まない」という回答が最も多い。

令和4年度と比較しても、小学生は「②1～2冊」の回答が18.5% (R4: 18.0% 差: 0.5pt) と増加し、中学生は「③3～4冊」が7.6% (R4: 10.4% 差: △2.8pt) と数字を落としたものの、「④5～6冊」「⑤7冊以上」の回答は増加している。

令和5年度調査

	①まったく読まない	②1～2冊	③3～4冊	④5～6冊	⑤7冊以上
小学生	65.4%	18.5%	9.6%	2.9%	3.5%
中学生	59.4%	21.5%	7.6%	2.6%	8.9%

<図3-2-1 令和5年度調査と前年度調査の比較>



問4 読んだ本はどこで出会った本が多いですか。

概要 小中学生どちらにおいても、「②お店」という回答が最も多い。

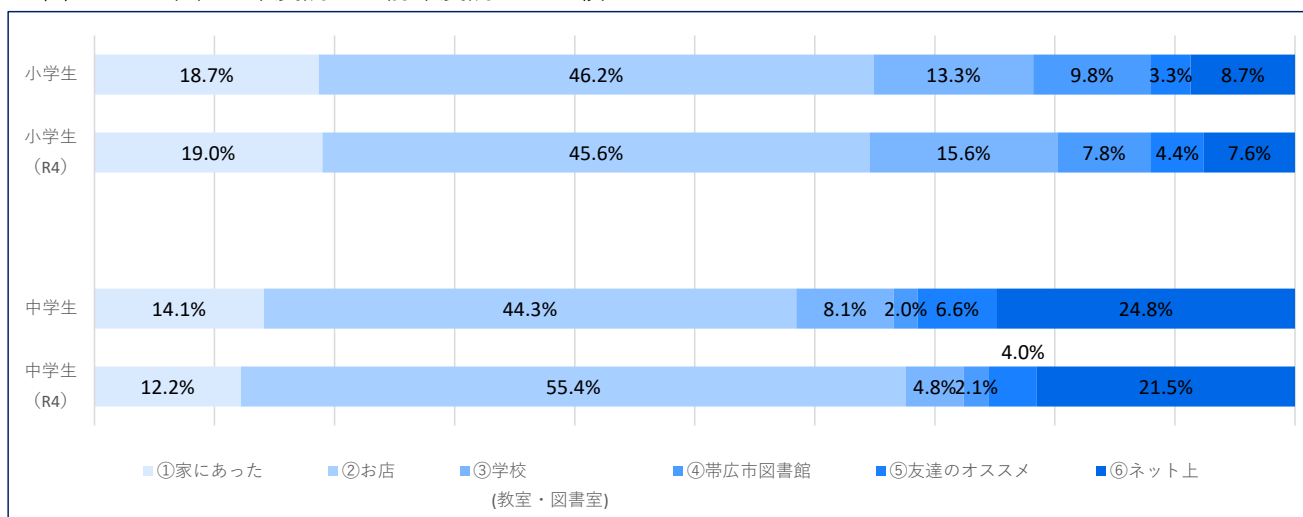
令和4年度と比較し、小学生はほぼ変わらない結果となったことに対し、中学生はお店以外の項目において増加が見られる。

また、インターネットを通じた本との出会いは小学生と比べ中学生において割合が大きく、前年度と比較しても増加している。

令和5年度調査

	①家にあった	②お店	③学校(教室・図書室)	④帯広市図書館	⑤友達のオススメ	⑥ネット上
小学生	18.7%	46.2%	13.3%	9.8%	3.3%	8.7%
中学生	14.1%	44.3%	8.1%	2.0%	6.6%	24.8%

<図4-1 令和5年度調査と前年度調査の比較>



問5 今年は、昨年と比べて本を読む機会は増えましたか。

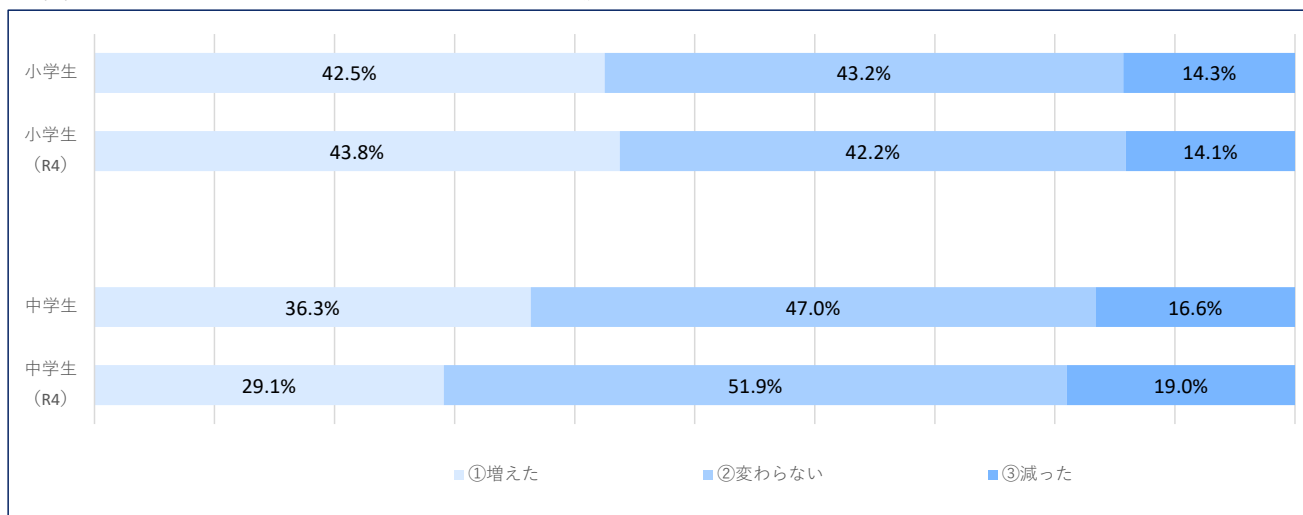
概要 小中学生どちらにおいても、「②変わらない」という回答が最も多い。

しかしながら、小学生において「①増えた」という回答が42.5%（R4：43.8% 差：△1.3pt）と減少した中で、中学生は①の回答が36.3%（R4：29.1% 差：7.2pt）と増加した。

令和5年度調査

	①増えた	②変わらない	③減った
小学生	42.5%	43.2%	14.3%
中学生	36.3%	47.0%	16.6%

<図5-1 令和5年度調査と前年度調査の比較>



問6 あなたは、小学校に入る前、家の人に絵本や本を読んでもらったことがありますか。

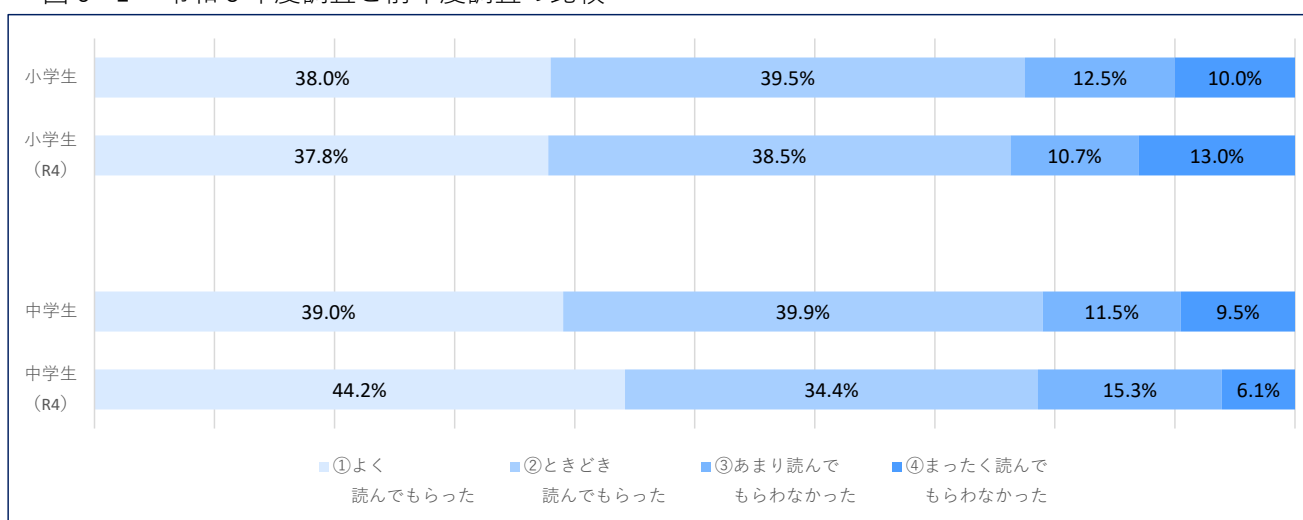
概要 小中学生どちらにおいても、「①よく読んでもらった」「②ときどき読んでもらった」を合わせて回答の約8割を占めている。

令和4年度と比較してもほぼ横ばいと言える結果だが、「④まったく読んでもらわなかった」という回答が小学生は10.0%（R4：13.0% 差：△3.0pt）に対し、中学生は9.5%（R4：6.1% 差：3.4pt）と増加している。

令和5年度調査

	①よく読んでもらった	②ときどき読んでもらった	③あまり読んでもらわなかった	④まったく読んでもらわなかった
小学生	38.0%	39.5%	12.5%	10.0%
中学生	39.0%	39.9%	11.5%	9.5%

<図6-1 令和5年度調査と前年度調査の比較>



問7 あなたは本を読むのが好きですか。

概要 小中学生どちらにおいても、「①好き」という回答が多い。

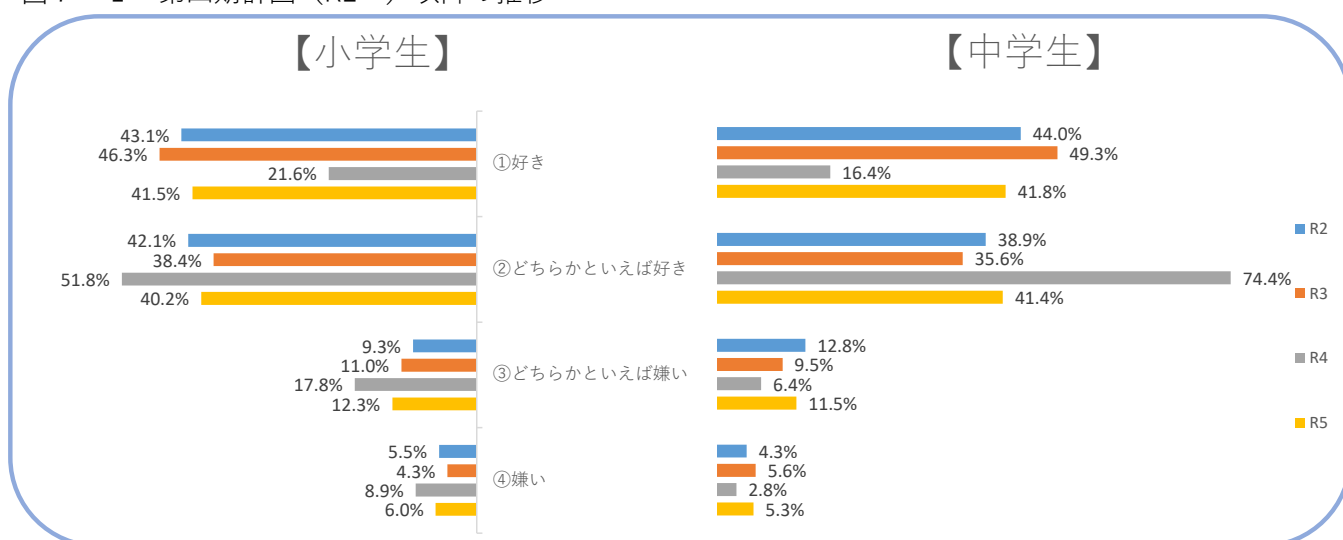
令和4年度と比較すると①と回答した小学生は41.5%（R4：21.6% 差：19.9pt）、中学生は41.8%（R4：16.4% 差：25.4pt）まで増加している。

一方で、中学生で「③どちらかといえば嫌い」「④嫌い」の回答は合わせて16.8%（R4：9.2% 差：7.6pt）と増加している。

令和5年度調査

	①好き	②どちらかといえば好き	③どちらかといえば嫌い	④嫌い
小学生	41.5%	40.2%	12.3%	6.0%
中学生	41.8%	41.4%	11.5%	5.3%

< 図7-1 第四期計画（R2～）以降の推移 >



問7-1 問7で、③、④と回答した方は、その理由を教えてください。

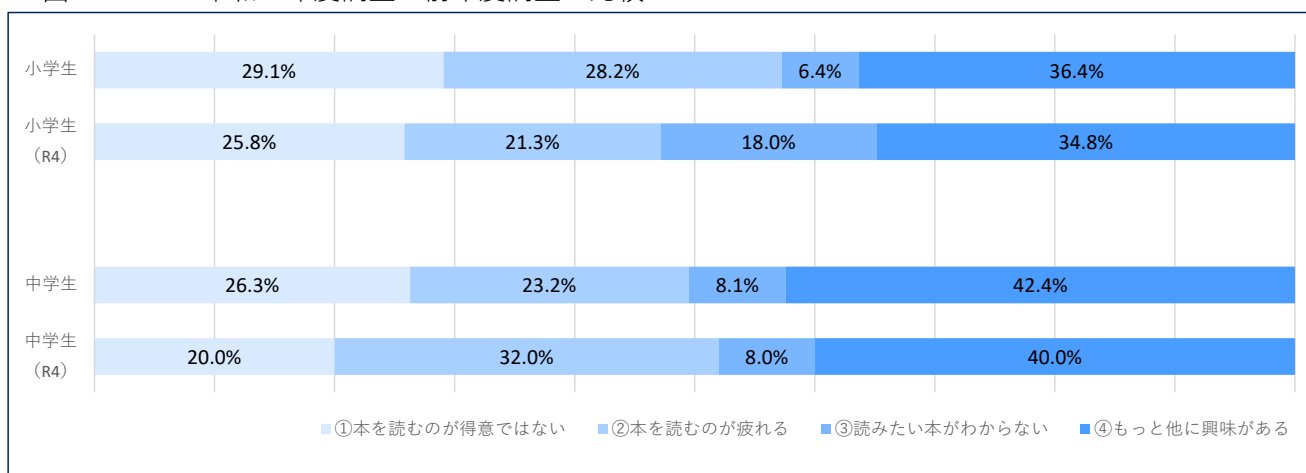
概要 小中学生どちらにおいても、「④もっと他に興味がある」という回答が多い。

令和4年度と比較し、小学生のうち「③読みたい本がわからない」が6.4%（R4：18.0% 差：△11.6pt）と減少したが、「①本を読むのが得意ではない」「②本を読むのが疲れる」が合わせて57.3%（R4：47.1% 差：10.2pt）と増加した。

令和5年度調査

	①本を読むのが得意ではない	②本を読むのが疲れる	③読みたい本がわからない	④もっと他に興味がある
小学生	29.1%	28.2%	6.4%	36.4%
中学生	26.3%	23.2%	8.1%	42.4%

<図7-1-1 令和5年度調査と前年度調査の比較>



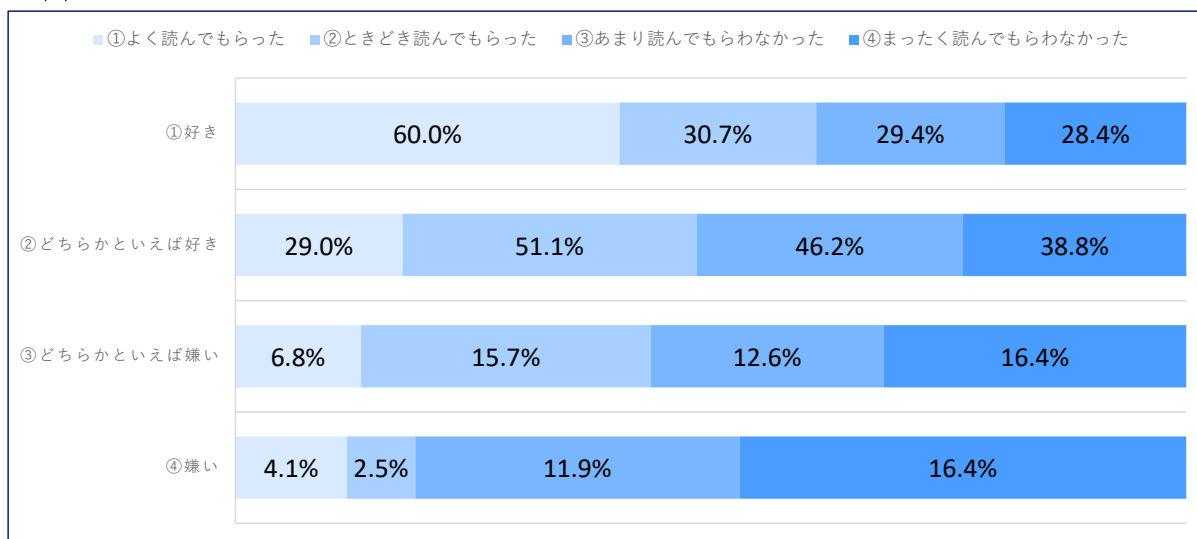
問6と問7のクロス集計

概要 問6で「①よく読んでもらった」と回答した児童生徒のうち、問7で「①好き」「②どちらかといえば好き」と回答した児童生徒は89.0%（R4：84.0% 差：5.0pt）となり、よく読んでもらった児童生徒ほど、好きになる傾向が見られる。

問6の各回答毎の問7の回答の内訳

	①好き	②どちらかといえば好き	③どちらかといえば嫌い	④嫌い
①よく読んでもらった	60.0%	29.0%	6.8%	4.1%
②ときどき読んでもらった	30.7%	51.1%	15.7%	2.5%
③あまり読んでもらわなかった	29.4%	46.2%	12.6%	11.9%
④まったく読んでもらわなかった	28.4%	38.8%	16.4%	16.4%

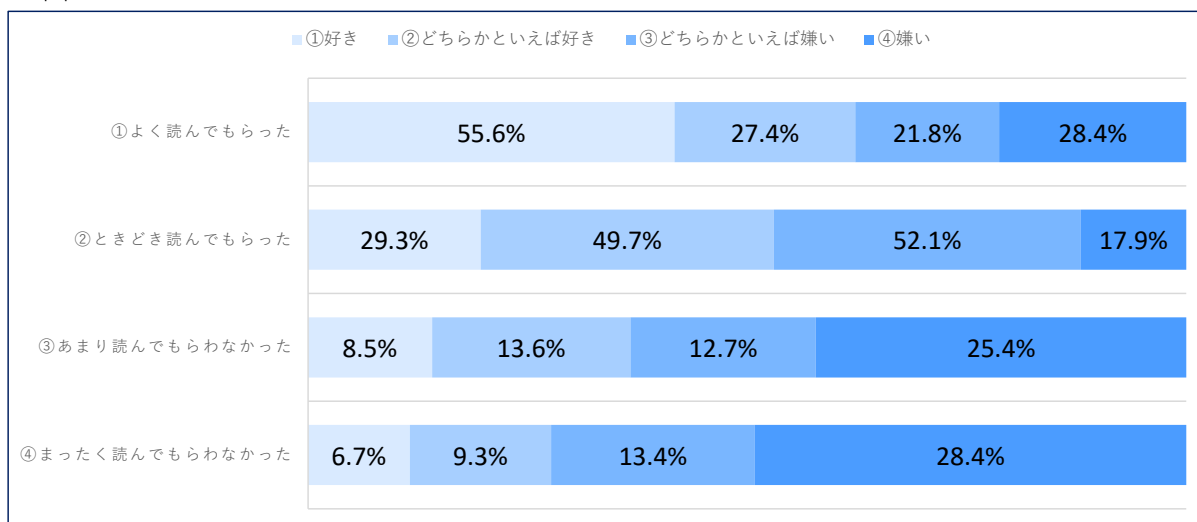
<図67-1>



問7の各回答毎の問6の回答の内訳

	①よく読んでもらった	②ときどき読んでもらった	③あまり読んでもらわなかった	④まったく読んでもらわなかった
①好き	55.6%	29.3%	8.5%	6.7%
②どちらかといえば好き	27.4%	49.7%	13.6%	9.3%
③どちらかといえば嫌い	21.8%	52.1%	12.7%	13.4%
④嫌い	28.4%	17.9%	25.4%	28.4%

<図67-2>



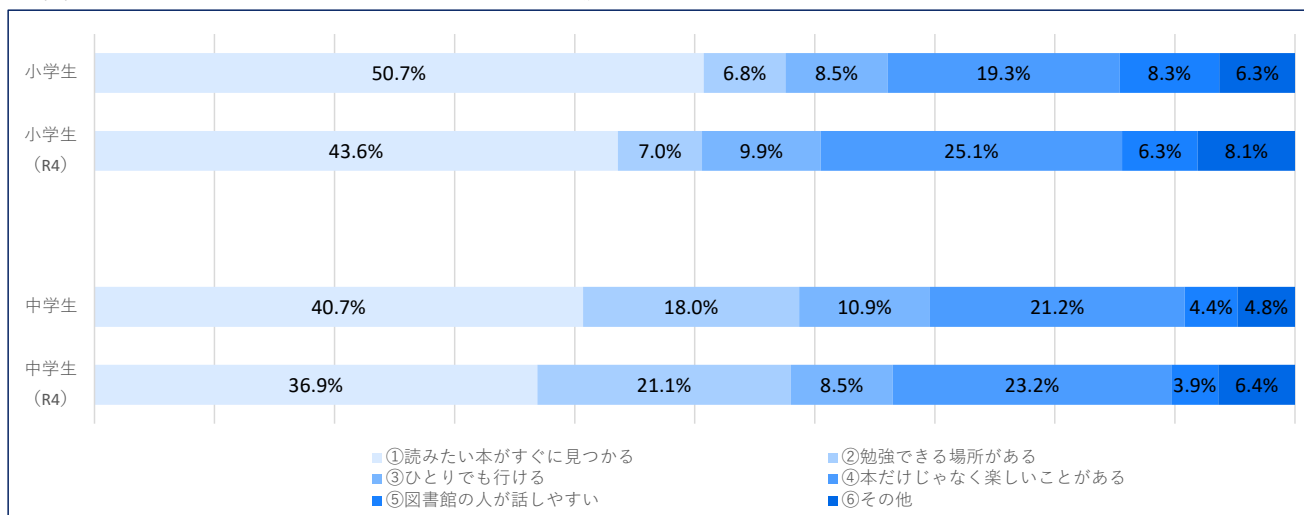
問8 どんな図書館なら（もっと）行ってみたいと思いますか。

概要 小中学生どちらにおいても、「①読みたい本がすぐに見つかる」という回答が多い。
 特に小学生で①と回答した児童は令和4年度と比較して7.1pt増加し、図書資料の使いやすさをより重視する傾向がうかがえた。

令和5年度調査

	①読みたい本がすぐに見つかる	②勉強できる場所がある	③ひとりでも行ける	④本だけでなく楽しいことがある	⑤図書館の人が話しやすい	⑥その他
小学生	50.7%	6.8%	8.5%	19.3%	8.3%	6.3%
中学生	40.7%	18.0%	10.9%	21.2%	4.4%	4.8%

<図8-1 令和5年度調査と前年度調査の比較>



問8-1 問8で⑥と回答した方は、その内容を教えてください。

概要 自由記述の回答となっており、一番多かったのは「友人と」「喋りながら（飲食しながら）」
「家から近い距離にある」など施設環境に関するもので、次いで「漫画の蔵書が欲しい」と
いった蔵書に関する要望が多かった。

合計

分類項目	件数（件）
環境	34
蔵書	22
その他	11
合計	67

【総評】

① 読書状況について

1ヵ月の間に7冊以上本を読むうち、雑誌や漫画は1～2冊と回答する児童生徒が多かった。活字の本での読書が多く見込まれ、結果的に本を読むのが好きと回答する児童生徒が8割以上である一方で、嫌いと回答した児童生徒のうち、その理由として本以外への興味を挙げている割合が多かった。学校で使用する一人一台端末など、情報機器が子どもたちにも普及しているこの情勢においては、令和3年度より導入した電子図書館の更なる活用が、本に親しむきっかけになり得ると考えられる。

② 電子による読書状況について

一人一台端末やスマートフォン等の電子媒体の詳細は運用ルールは、家庭毎はもちろん学校毎でも異なっており、児童生徒の目の健康状況を鑑みると授業中での利活用の他は、制限時間を決めて使用する例が想定される。帯広市電子図書館の電子書籍は利用・返却が簡便であるため読書のきっかけの一つとして活用されており、学校での授業や朝読書、またインターネットに慣れるための教材の一つとして期待される。今後も引き続き、新鮮かつ魅力的な蔵書を取り揃えていく。

③ 本を手取る環境について

特に小学生は学区移動の制限により、家族等と一緒に来館が常となる。そのため、より身近な学校図書室の利活用が更なる課題と考えられる他、普段図書館に来ることのない児童らが、施設見学等で来館した際は、図書館でどういう事が出来るのか、をわかりやすく周知することがポイントと捉える。学校図書室の支援事業や、施設見学、職場体験の受入を引き続き行っていく。

④ 読書に苦手意識を持つ児童生徒について

本以外の興味として部活動や勉強、友人との時間が考えられ、そのどれもを大切にしながら、読書の良さ又は楽しみを見出し、自主的な読書活動に進めるよう支援することが第四期計画の狙いの一つでもある。学校や家庭等での読み聞かせによる読書の楽しさを知る機会に加え、自分で本を選ぶ楽しさを知るべく図書館では季節に合わせた本の展示や、発達段階に応じたブックリストの配布を引き続き継続していくことが重要と考える。

⑤ 図書館の運営について

自由記述では、声が多かった意見の他に「静かな」「時間に制限なく無限に読みたい」「読みたい本が借りられていて無いという状態が無い」といった、普段から図書館を利用していると思われる児童生徒の回答があった。特に自由記述の項目からは忌憚のない意見が寄せられており、実現が困難なものもあるが、児童生徒のニーズとして図書館内で共有し、今後の運営の参考としていく。

III 参考

1 はじめに

本参考では、本アンケート結果における帯広市の位置付けを確認するべく、文部科学省が実施する「全国学力・学習状況調査（以下、「全国調査」という）」の設問との比較を行う。

帯広市の経年比較については【本アンケート問1】の結果、全国との比較については【全国調査】の結果を引用する。

2 全国調査における比較対象設問

(20) 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書を行いますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）

〔回答項目〕 ※本参考では、回答番号1～4の項目を参照

1：2時間以上 2：1時間以上、2時間より少ない 3：30分以上、1時間より少ない

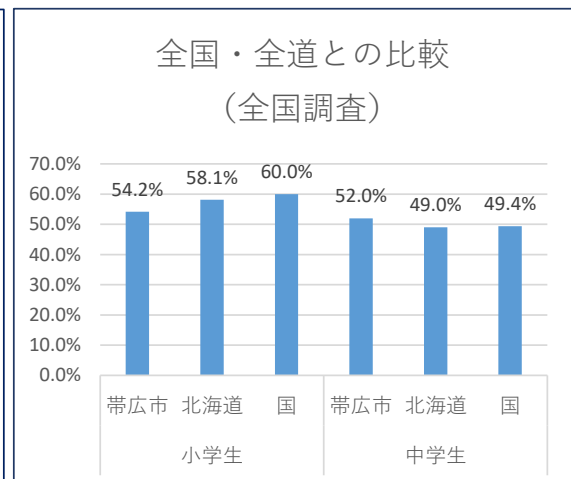
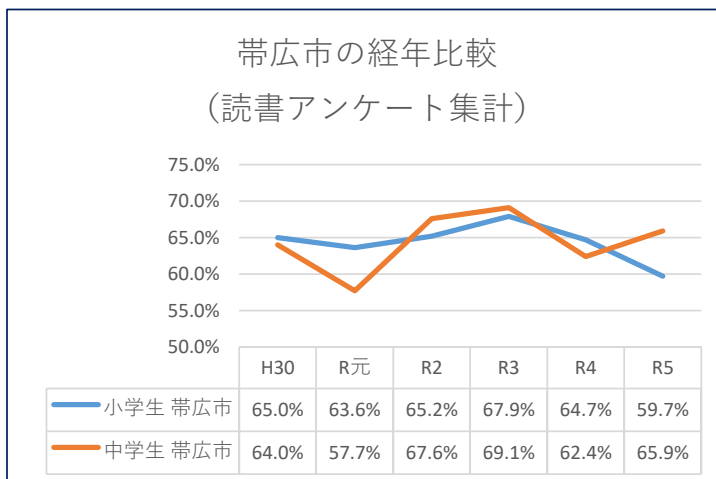
4：10分以上、30分より少ない 5：10分より少ない 6：全くしない 7：その他

3 (学校の授業以外で) 平日1日あたり10分以上読書をする子どもの割合

区分		H30	R元	R2	R3	R4	R5	調査主体
小学生	帯広市	65.0%	63.6%	65.2%	67.9%	64.7%	59.7%	帯広市
	帯広市					54.7%	54.2%	文部科学省(国)
	北海道	62.8%	63.0%		57.6%	57.1%	58.1%	文部科学省(国)
	国	66.2%	65.9%		61.4%	59.6%	60.0%	文部科学省(国)
中学生	帯広市	64.0%	57.7%	67.6%	69.1%	62.4%	65.9%	帯広市
	帯広市					48.9%	52.0%	文部科学省(国)
	北海道	55.3%	50.9%		48.8%	48.4%	49.0%	文部科学省(国)
	国	53.5%	50.5%		50.1%	48.6%	49.4%	文部科学省(国)

〈図1〉

〈図2〉



4 考察

- ・ (図1参照) 読書アンケートによる帯広市の経年比較結果を見ると、小学生・中学生ともに令和4年度は減少傾向だったが、令和5年度は中学生のみ回復している。しかしながら、小学生が過去最低の結果となったことから、特に小学生の読書環境充実の他、これまでの事業見直しを図る必要がある。
- ・ (図2参照) 全国調査による帯広市と全国の比較結果を見ると、ほぼ同水準であることが分かるため、アンケート結果に沿って読書環境を提供し、子供の読書率の向上を図っていく。